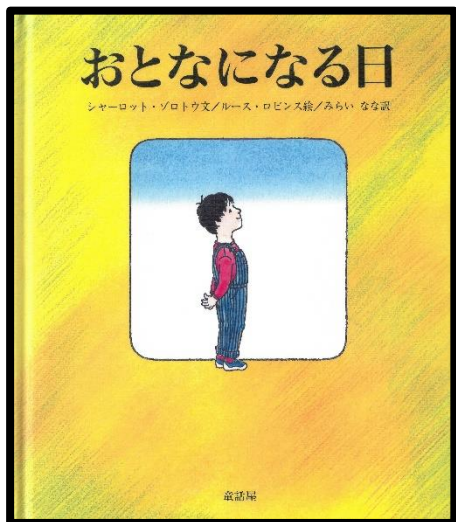




おとなになる日



シャーロット・ゾロトウ/文
ルース・ロビンス/絵
みらい なな/訳
童話屋(エ)

ティモシーは、年のはなれた兄さん
がだいすきで、いつもいっしょにくっつ
いています。だけど、兄さんの友達
がきたときは、へやのそとに出されて
仲間に入れてもらえません。

そんなある日、家のおむかひに、
同じぐらいの年の男の子がひっこし
てきて、ティモシーははじめて友達と
あそぶ楽しさをしります。

家族から友達へと、すこしずつ世
界がひろがっていく様子が、あたたか
くえがかけられています。

ひこざさんとまほうのじゃがいも

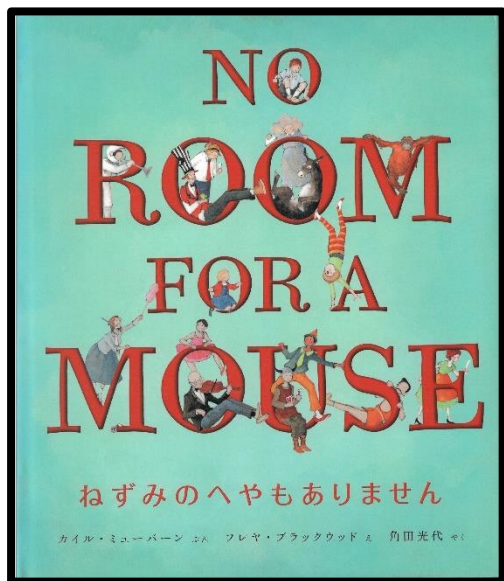


こどものとも 年中向き [2016年9月号]
木村 晃彦/さく
福音館書店

いのししのひこざさんは、あなぐ
まのまんじさんから、だいこうぶつ
のじゃがいもを10こもらいました。
まんじさんはじゃがいもを土にうめ
てふやすのだと言います。土にうめ
ればじゃがいもは、1つが5こにも8
こにも、ふえるのだそうです。

ひこざさんはさっそく、庭にじゃが
いも10こをうめました。でも、くいし
んぼうのひこざさんは、まちきれな
くて1つまた1つ、じゃがいもをほり
かえしてたべてしまい、とうとうのこ
りは1つだけとなってしまいます。

ねずみのへやもありません



カイル・ミューバーン/ぶん

フレヤ・ブラックウッド/え

角田 光代/やく

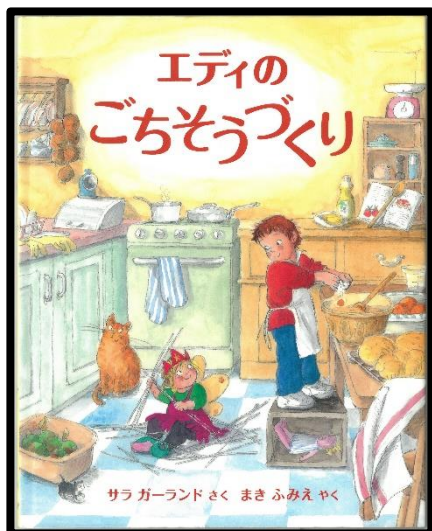
岩崎書店〔エ〕

部屋の数がわからないくらい大きなおやしきに、クリストファー、おかあさん、ねずみのスニーキーは住んでいます。

まちに出かけたクリストファーは、住むところがなく、こまっている人たちに声をかけて家によんでいきます。おかあさんはいつも大忙しで、お客さんにはまったく気がつきません。

どの部屋もお客さんでいっぱいになったある日、おかあさんはクリストファーとスニーキーのすがたがみえないことに気がつきます。

エディのごちそうづくり



サラ ガーランド/さく

まき ふみえ/やく

福音館書店〔エ〕

おじいちゃんのおたんじょうかいをわすれていたママはおおあわて。6じからのおたんじょうかいにまにあうように、エディと妹のリリーはママのおてつだいをして、おじいちゃんのすきなごちそうをつくります。

ちいさなリリーがするおてつだいからも目がはなせません。みんなでりょうりをすることの楽しさが伝わってくる絵本です。

さいごのページには、エディの作ったごちそうのレシピがのっています。前作に「エディのやさいばたけ」もあります。